教育かわら版

こんにちは教育委員です　ふたたび

No.１４２
令和２年３月１３日発行
今金町教育委員の会

文責：教育長　中山秀悦

乗り切ろう!

１４１号・実質の１号の発行から２か月経ってしまいました。ここ数週間はコロナウイルス感染症対応で、熟慮と判断が求められる日々です。今日がひな祭りだということも意識の外でした。

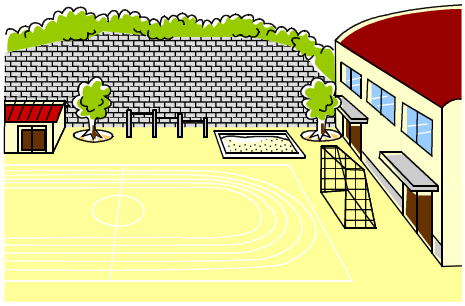
ゆとりをもって生活しなければ･･･。

学校の長期にわたる臨時休業で、子どもたち、保護者の皆様、教職員の皆様には息苦しい思いをさせてしまっております。

私ども教育委員会としては、出された知事部局・道教委の通知をベースに、今金町周辺の状況を鑑みながら、今後考えられる情勢も想定する中で、早め早めの決断を持ちながら、通知を待って指示、公表をしていくことを考えております。

教育長として納得できる内容なのか。町長部局の支持が得られる内容なのか。そこが肝です。

ー３月３日　記ー



２月２４日。「ここ２週間が重要な時期」と知事。私も同じ思いで頑張ります。

他の都府県と違って、子どもたちへの語りかけもできないまま休業に入ってしまった北海道。

教職員の皆様のお気持ちはよく分かります。

９日（月）からは、学童保育所利用者の１・２年生希望者に、朝からの学童保育を開始いたしました。ナース資格を有する町健康教育アドバイザーを常駐させての開所です。

それに先だって、なんとか町内の子どもたちの様子を把握し、生活の仕方や学習課題を伝える。何よりも子どもたちの顔を見てお互い安心し、励みとする。そんな玄関先での家庭訪問を、先ず実施しようと決定し、５日（木）、６日（金）から学校に実施していただきました。

卒業式の対応、分散登校の実施。

コロナウイルスの道内での状況を見て、道教委の方針決定も苦しいものがあったと認識しております。今金町教委としましても、教育委員の方々、PTA 会長様とも連絡を取りながら、その時々で想定される最善の方法を町長部局と詰めて先ず決定しておき、通知を待って発出するという手立てをとってまいります。

卒業式の実施。本日の今金中学校から開始です。

道教委からの通知もあり、ご来賓の出席はご遠慮させていただきました。保護者につきましては１名のみですが、体育館のスペースを考えてご出席いただけるよう学校に伝えてあります。

在校生はなし。呼びかけや送辞・答辞、卒業生の合唱・全校合唱という一番感動する場面を設定させてあげられなかったことは、元現場にいた人間として大変申し訳なく思います。ごめんなさい。

何事もいつかは終わります。新学期は予定通り始められるのか、など、まだこの先が見えないコロナウイルス感染症対応ではあります。

でも、「雨雲の上には太陽がある」。

そんな思いで乗り切っていこう。そう考える毎日です。

